

金刀比羅神社の落ち葉で染めた丹後ちりめんのお守りを こまねこまつりで限定授与

～ サスティナブルをテーマに織センが実施した研究成果を地元へ還元 ～

京都府織物・機械金属振興センターではサスティナブルをテーマに、落ち葉や雑草から染料を抽出し、織物素材を開発する研究をしています。

この成果を地元へ還元するため、昨秋からは機織養蚕の守護神である狛猫が鎮座する金刀比羅神社、こまねこまつり実行委員会、地元の織物事業者(株式会社吉村商店)と連携し、境内の落ち葉で糸を染めて、狛猫をモチーフとした丹後ちりめんの製造及び製品化に取り組みました。

このたび、金刀比羅神社で9月17日(日)に開催される「こまねこまつり」において、この丹後ちりめんで作成したお守り222体が限定授与されます。是非取材ください。

1 織物素材の開発について

- ・ 当センターでは丹後ちりめんの用途拡大を目的に、サスティナブル、スマートテキスタイル、NFT等の多岐にわたるテーマで織物素材を開発中。
- ・ 令和3年度には、落ち葉等から染料を抽出して紳士シャツ地等を開発。洗濯をしても色落ちしない、高い染色堅ろう度を得られた。
- ・ 成果を地元へ還元するため、令和4年秋に本連携を構築。
- ・ 開発の詳細は、当センターのホームページに掲載。
(右記のQRコードからアクセスできます)



2 こまねこまつり及びお守りの授与について

- ・ 金刀比羅神社に全国でも珍しい狛猫が鎮座することから、平成28年から毎年9月に、こまねこまつり実行委員会が地域おこしを目的としたイベントを実施。
- ・ 今年は9月17日(日)に境内(京丹後市峰山町泉1165-2)や周辺で開催。
- ・ こまねこまつり及びお守りの授与に関する詳細は、別添資料のとおり。

【本報道発表に関するお問合せ】

(1) 織物素材の開発に関すること

京都府織物・機械金属振興センター 技術支援課 徳本 電話 0772-62-7402

(2) こまねこまつり及びお守りに関すること

こまねこまつり実行委員会 委員長 廣瀬啓子 電話 090-6327-4973





丹後の人と猫の
つながりを大切に
するまつり

こまねこまつり

mineyama
komaneko
festival

2023年

9月17日 他

10時から16時

峰山まちなか・金刀比羅神社

(京都府京丹後市峰山町)



「猫と丹後ちりめん」

江戸時代より機織りで栄えた峰山では、絹糸を生み出す蚕をネズミから守ってくれる猫を大切にしていました。金刀比羅神社にある木島神社は地元の糸商人や養蚕家たちによって京都から峰山の地へ迎えられたもので、そこに鎮座する狛猫は今も地域の守り猫として人々に親しまれています。「猫」と「丹後ちりめん」をキーワードに、丹後の人と猫のつながりに思いを馳せて、時空を超えたまちあるきを楽しみましょう。

撮影地/
小西山 禅定寺 (峰山町小西)

禅定寺には、丹後ちりめんの創業者の一人、絹屋佐平治が京都の西陣の技術習得を祈願し、最初に織ったちりめんとされる「縮み布」が奉納されています。



主催 こまねこまつり実行委員会

ねこプロジェクト/こんぴら手づくり市/丹後の猫好きネットワーク【ねこ会議】
協賛：羽衣ステーション 協力：金刀比羅神社/edit Tango 後援：京丹後市



こまねこまつり 検索



<https://komanekofes.com> 海の京都





2023 こまねこまつり

9/16(土) 17時～ 場所/金刀比羅神社 本殿・絵馬舎

入場自由・投げ銭制

京都産業大学生による灯籠のライトアップも

こまねこまつりご祈禱

イベントの成功とまちの安寧、皆さんの日々のご健康を祈願します。

奉納公演「夜灯りこまねこ狂言会」

狂言師 河田全体さんと仲間たちによる創作狂言をお楽しみください。【主催】こまねこまつり実行委員会

9/17(日) 10時～16時 場所/金刀比羅神社

開運厄除け

こまねこまつり限定!! オリジナルお守り授与

222体限定/1,000円

【企画】こまねこまつり実行委員会
【協力】吉村商店・京都府繊維機械金属振興センター

9/16(土)17(日)18(日) 10時～16時 場所/田中家具ギャラリー

大丹後ネコ派てん

入場無料

「丹後の猫」をテーマに、人や猫とは何か、人と猫の関係は…。作家がそれぞれの想いを表現します。
【主催】ヒカリ美術館・こまねこまつり実行委員会



9/17(日) 10時～16時 場所/金刀比羅神社 境内ほか

こんぴら手づくり市

猫をモチーフにしたアクセサリー、雑貨、小物など素敵な手づくり品がいっぱい!! キッチンカーなど飲食ブースも出店予定
【主催】こんぴら手づくり市実行委員会
<https://konte1.jimdofree.com>

池田修造「猫の目」展

猫の置物365個を展示・販売します。
【主催】ヒカリ美術館

丹後ちりめん つるし飾り展示

見学自由
【場所】金刀比羅神社・吉村商店
【主催】ねこプロジェクト

峰高茶道部 お呈茶

無料サービス(数量限定)
【主催】峰山高茶部
【協力】戸田風月堂

こまねこ鉄道フェスタ

こまねこ列車も走るNゲージ運転体験、鉄道グッズ販売など
【企画運営】北近畿鉄道ビジネス(株)

1,000円以上(税込)お買い上げで
丹後あかまつ号
チョコQ®(非売品)
プレゼント!!



陶器ねこ・ねこ面ペイント

自分だけの「陶器ねこ」「ねこ面」を作ろう!
【主催】ねこプロジェクト

小嶋庵ちようちんワークショップ

ミニ提灯に絵付をしてみよう! 【主催】小嶋庵

Kaic参加型アートプロジェクト「町を縫う」出張ワークショップ

「町を縫う」ワークショップで作った、町の形・模様を縫うワークショップです。(申込不要・短時間参加OK)
【主催】京都:Re-Search実行委員会

ARスタンプラリー こまねこを救え!伝説の猫7(セブン)

スマートフォンのCOCOARアプリと紙の地図を手にARスポットを巡る散策型スタンプラリー。7匹の仲間猫を集めて悪いネズミをやっつけよう!
【共催】こまねこまつり実行委員会・京都産業大学
【協力】わくわくプロモーション

ねこねこよろず相談会

ねこに関する「どうしたら?」に答えます。子猫を保護した、里親になりたい、野良猫に困っている等お気軽にご相談ください。キャットフードドライブも。
【主催】丹後の猫好きネットワーク ねこ会議
<https://www.facebook.com/tangonekokaigi>

手づくり市と陶器ねこ・ねこ面イベントは毎月第3日曜日にも開催中です!



プロジェクトの詳細はこちら

オープニング映像とアプリDLはこちら



豪華景品や参加賞がもらえます!

オリジナル猫グッズの販売もしています!



and more...?!

10/15(日) 9時～ 場所/峰山まちなか・金刀比羅神社 毎月の「こんぴら手づくり市(午前10時～午後3時)」も同日開催!

てくてく我がまち再発見・こまねこウォーク「峰山の古今食文化をめぐる」

多くの貴重な文化財を有し今に生きる多様な食文化が根差す京丹後。峰山のまちなかを歩きながら新・旧の食文化を体験します。(少雨決行)

【時間】午前9時～正午
【コース】京丹後市役所峰山庁舎前(集合、8時30分受付開始)。10名程度の班に分かれ、おのじん、かさい食堂、KISSUIEN Stay & Food で試食をしながら歩きます(約1.5 km)。金刀比羅神社社会館(解散)
【参加費】1,000円 【定員】30名(要申込・先着順) 【申込締切】10/6(金)
【申込先】羽衣ステーション事務局
電話 0772-62-8560 FAX 0772-62-8561
メール mailmaster@hagoromo.gr.jp(名前、生年月日、連絡先を明記)
【主催】羽衣ステーション・こまねこまつり実行委員会 【協力】福知山公立大学



ウィキペディアにゃウン vol.6 古今食文化をめぐる

丹後の食文化にまつわる項目をオンライン百科事典 Wikipedia に作成します。

【時間】午前9時～午後4時30分(午前:こまねこウォークに参加、午後:ウィキペディア編集)
【場所】金刀比羅神社社会館 【参加費】1,000円
【定員】15名(要申込・先着順) 【申込締切】10/6(金)
【主催】edit Tango
【申込先】<https://edit-tango.webnode.jp/イベント/>



紙芝居×マリンバ×三味線のスペシャルコラボステージ
歴史紙芝居 【主催】森山道子・谷口理恵・田中匡代
猫ボードゲーム会 【主催】丹後ボードゲーム会
【協力】福知山公立大学



こまねこまつり 検索

リンク集

詳細や中止情報等はウェブ・Facebookでお知らせします

<https://komanekofes.com>

掲載情報は8/4(金)現在のものです。天候その他の状況により中止・延期する場合があります。スタッフの指示に従い安全な開催にご協力ください。

こまねこまつり

「こまねこまつり」は平成28年(2016)9月の第1回から、人と人とのつながりを大切に、まちのこし、まちおこしにつなげられるよう、毎年開催を続け、今年で8回目の開催となります。

江戸時代より機織りで栄えた丹後では、絹糸を生み出す蚕をネズミから守ってくれる猫を大切にしていました。金刀比羅神社にある木島神社は地元の糸商人や養蚕家たちによって京都から峰山の地へ迎えられたもので、そこに鎮座する狛猫は今も地域のシンボルとして人々に親しまれています。丹後縮緬と共に歴史を重ね、平成28年には日本遺産「丹後ちりめん回廊」の構成文化財、令和2年には京丹後市の指定文化財として指定を受けました。

「猫」と「丹後ちりめん」をキーワードに、丹後の人と猫のつながりに思いを馳せて、時空を超えたまちあるきを楽しむイベントとして生まれたのが「こまねこまつり」です。

こまねこまつり実行委員会 代表 田中智子

実行委員長 廣瀬啓子

丹ちり こまねこ守り

織物・機械金属振興センターから、金刀比羅神社の紅葉で染めた生糸の活用方法について相談を受け、(株)吉村商店、こまねこまつり実行委員会、金刀比羅神社の4者で協議を重ね、サステナブルとこまねこまつりの趣旨に添うものとして「丹ちり こまねこ守り」を製作し、9月17日(日)のこまねこまつり2023で限定授与するはこびとなりました。

紅葉の名所でもある金刀比羅神社の紅葉落ち葉から染料を抽出して染められた絹糸を、(株)吉村商店(代表取締役 吉村隆介)が全面的に協力して、狛猫柄の丹後縮緬生地が織り上げられました。

こまねこまつり実行委員が1体1体手づくりで縫製して御守袋を製作、御守本体を繭で包んで中に納めています。

ねこにちなんで222体、9月16日に本殿で祈禱の上、17日にこまねこまつり本部受付(神社社務所前)で限定授与します。



丹ちり こまねこ守り 授与

金刀比羅神社の紅葉で染められた糸で織られた丹後縮緬の御守り袋に、開運厄除けの護符が繭に包まれて納められています。

9月17日(日) 10時～16時

222体限定(1人1体に限る)

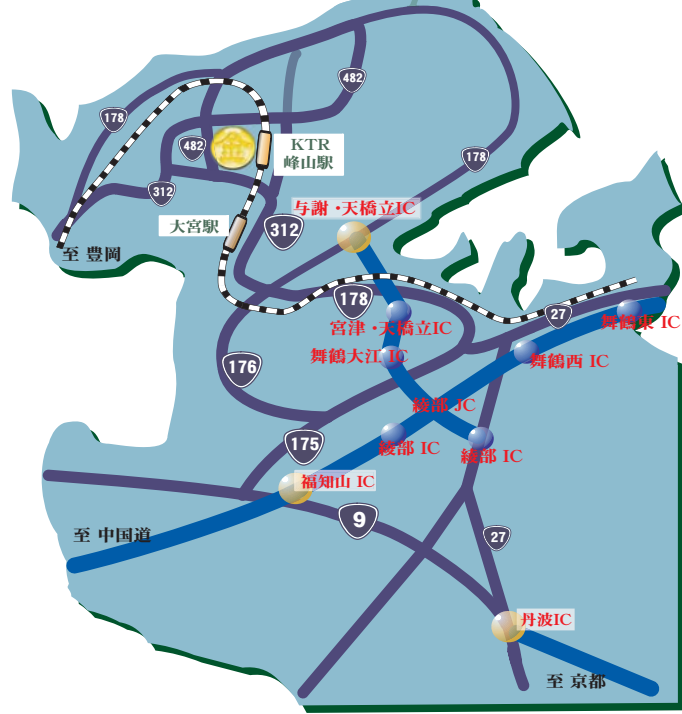
初穂料 1体1,000円

こまねこまつり本部受付(神社社務所前)





<http://konpirasan.com>
info@konpirasan.com



金刀比羅神社社務所
 〒627-0034 京都府京丹後市峰山町泉1165-2
 TEL 0772-62-0225 FAX 0772-62-5993



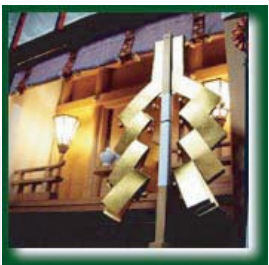
境内末社 (五棟七社) 約六千坪 (二万平方米)

粟島社	倉稻魂命	医薬の祖神、女人の守護神
稲荷社	少彦名命	
木島社	保食命	機織養蚕の守護神
猿田彦社	猿田彦命	導の神、交通の守護神
八坂社	素蓋鳴命	疫病災害除けの守護神
佐々木社	定省命	宇多源氏(京極氏)の祖神
秋葉社	迦具土命	火防の守護神



ご祭神 大物主大神(オオモノヌシノオカミ)

古来『人の身につき願ひて叶はざることなき大神』と称えられるほどの
廣大無辺なご神徳がございます



由緒

旧峰山藩主 京極家は、代々ゆかりの讃岐金毘羅権現を深く信仰され、この峰山の地に金毘羅社を勧請したいと念願されていきました。
七代藩主 京極高備(キョウゴクタクマサ)公は同族のよしみから丸亀・多度津の両京極家にあっせんを依頼し、金毘羅宮にも交渉を続けられました。
そして遂に、藩主をはじめ町衆の永年に渡る悲願がかない、一国一社の先例を廃して御分霊を勧請することができ、文化八年(一八一)現在の峰山町泉の地に社殿を建立してご奉祀されたのです。



大祭

四月九・十日
七月九・十日
十月九・十日
(第二月曜)

春季大祭
夏季大祭
例祭
神輿渡御



信仰

創建以来現在にいたるまで、歴代の峰山藩主をはじめ町内外の人々から広く信仰を集めてきました。
殊に丹後ちりめんの中心地として商いに栄えた町内商工業者や、丹後・若狭の海事従事者の崇敬は篤く、心の拠り所とされて参りました。
現在は峰山町旧町内が氏子区域として、当社をささえられています。
ご婚礼、初宮詣・七五三詣・厄年詣から、家内安全・商売繁盛・交通安全、そして漁業・海事の大漁安全と、丹後一円から祈願詣りの方々は跡を絶たず、百般にいたる信仰を集めています。

沿革

創建時は神仏混淆の「金毘羅権現社(コンピラゴンゲンシヤ)」と称していましたが、明治に神仏が分離されて社号を「金刀比羅神社」と改められました。
そして明治六年には郷社に、大正八年には府社(何れも戦前の旧社格)に格付けられました。

また、明治四十四年のご鎮座百年祭の際には二〇段もの石段が設けられ現在につながる神域が整い、当地では他に例のない壮麗な社となりました。

丹後大震災

昭和二年(一九二七)三月、北丹後地方を襲ったM7の大地震は峰山の町に壊滅的な被害をもたらしました。

当社の社殿も例外なく罹災・倒壊し、現在のご本殿をはじめすべての社殿はこれ以降に再建されたものです。



TANG

★ KONPIRASAN ★



★ KOMANEKO ★

こんぴらさんの狛猫は
日本で唯一ともいわれています。

ここ丹後・峰山は、丹後ちりめん発祥の地です。

ちりめんの絹、養蚕の大敵は「ネズミ」です。
ネズミは、マユや蚕などを食い荒らし、大損害をもたらします。
そこでネコの登場です。
ネコは、ネズミを追いやりちりめんを守る
大切な存在でした。

そして、今もこの丹後峰山の地で
「機織養蚕の守護神」にお仕えしているのです。

当社木島神社は、山城国(現京都市)の養蚕の神、木島神社から、
地元ちりめん織業者らの信仰によってお迎されました。

そこで、このちりめんの神に仕えるのは、
イヌではなくネコとなったのです。

平成23年に迎える御鎮座二百年祭を記念して、
「KOMANEKOステッカー」を作成しました。
狛猫の由来にちなんで除災招福の祈願を修めたステッカーです。
このステッカーは「厄落としくッキー」に案内役としてついています。

